

新型コロナウイルス感染症では、これまでいくつもの波を乗り越えてきましたが、本号の発刊時には第8波の収束の兆しが見えていることを願ってやみません。ただ同時に、この感染症を含め、様々な感染症の病原診断に臨床検査技師が深く関わることも広く認知されたと感じております。

さて、本号では、第16回日本臨床検査学教育学会学術大会のプログラムから基調講演や教育シンポジウム、ワークショップ、優秀発表賞を受賞された学生演題について執筆いただきました。無事に発刊することができ、この場を借りて執筆いただきました先生方に御礼申し上げます。臨地実習や臨地実習前技能修得到達度評価に関わる講演内容は、2022年度入学生から適用されたカリキュラムを踏まえ、各養成校の実施形態等の方針を考える上で参考になるものと思われます。また学術大会の発表演題において、学術的価値が高く、研究の意義や結果解釈などを含めて明快な発表が

なされた学生演題の概要に加え、臨床検査学教育の質向上に寄与する自主投稿論文も掲載しております。どれも本機関誌に相応しい内容となっておりますので、ぜひご高覧ください。

臨床検査学教育のあり方は、今後も臨床検査技師の置かれた状況や進むべき方向性に応じて変化すると思われます。今回の法的なカリキュラム見直しのように、そのあり方は日本臨床検査学教育協議会や日本臨床検査技師会等で議論されておりますが、国際的な臨床検査等の動向も注視しながら、本邦の臨床検査学を担う次世代の高度専門職業人や教育者、研究者等の育成をどのように進めるべきか、本機関誌を介して情報交換ができればと思います。会員の先生方には、今後も積極的に論文投稿を行っていただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

(令和5年1月18日 編集委員会委員長
齋藤 良一)

一般社団法人 日本臨床検査学教育協議会
日本臨床検査学教育学会 学術部
編集委員会(令和4年・5年度、五十音順、敬称略)

副理事長(学術部)：市野直浩(藤田医科大学)

委員長：齋藤良一(東京医科歯科大学)、副委員長：高田智世(愛媛県立医療技術大学)

委員：伊藤洋志(長浜バイオ大学)、大川龍之介(東京医科歯科大学)、岡山香里(群馬パース大学)、岸井こずゑ(埼玉県立大学)、櫻井 進(東京工科大学)、杉本恵子(藤田医科大学)

関 貴行(文京学院大学)、多田達史(香川県立保健医療大学)、西尾美和子(東京医科歯科大学)、星 雅人(藤田医科大学)、松田和之(信州大学)、本木由香里(山口大学)

臨床検査学教育 第15巻 第1号

令和5年3月1日発行

発行人：一般社団法人 日本臨床検査学教育協議会
理事長 坂本秀生

〒143-0016 東京都大田区大森北 4-10-7
日本臨床衛生検査技師会内
Tel. 080-7228-0508
e-mail : jimukyoku@nitirinkyo.jp
http://www.nitirinkyo.jp

編集：日本臨床検査学教育学会 学術部 編集委員会
e-mail : edit@jamte.org

制作：(株)宇宙堂八木書店
〒104-0042 東京都中央区入船 3-3-3
Tel. 03-3552-0931 FAX 03-3552-0770

広告取扱社：(株)日本廣業社
〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-3-11
Tel. 03-3238-7501